

平成29年 決算審査特別委員会 会議録

招 集 年 月 日	平成29年9月21日（木曜日）			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 会	9月21日 15時30分 渡久地政雄委員長宣言			
延 会	9月21日 16時36分 渡久地政雄委員長宣言			
出 席 委 員 （ 応 招 委 員 ）	1	島 袋 義 範 委 員	7	渡久地 政 雄 委 員
	2	島 袋 勉 委 員	8	亀 里 敏 郎 委 員
	3	山 城 善 彦 委 員	9	知 念 一 邦 委 員
	5	内 間 広 樹 委 員	10	名 嘉 實 委 員
	6	知 念 一 吉 委 員	11	内 田 竹 保 委 員
欠 席 委 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島袋裕次君 主 査 知念一史君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	島 袋 秀 幸 君	副 村 長	名 城 政 英 君
	教 育 長	宮 里 徳 成 君	総 務 課 長	内 間 常 喜 君
	政策調整室長	宮 城 弘 和 君	建 設 課 長	金 城 和 廣 君
	教育行政課長	新 城 米 広 君	建 設 課 参 事	知 念 利 次 君
	会 計 管 理 者	宮 里 政 喜 君	農 林 水 産 課 長	知 念 吉 久 君
	公 営 企 業 課 長	東 江 民 雄 君	福 祉 課 長	亀 里 裕 治 君
	商 工 観 光 課 長	万 寿 祥 久 君	住 民 課 長	西 江 忍 君
	医 療 保 健 課 長	大 城 強 君	農 業 委 員 会 長 事 務 局 長	島 袋 英 樹 君
総務課長補佐	山 城 直 也 君			
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

平成29年決算審査特別委員会議事日程（第1号）

平成29年9月21日（木）午後3時30分 開 会

日程	議案番号	件名
第1	認定第3号	平成28年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について（質疑）

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ただいまから、決算審査特別委員会を開会いたします。

(開会時刻15時30分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 認定第3号 平成28年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について議題といたします。

これから質疑を行います。歳入、款ごとに質疑を許します。

1款村税。22ページから24ページ。1款質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。2款地方譲与税。24ページから26ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。3款利子割交付金。26ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。4款県民税配当割市町村交付金。26ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。5款県民税株式等譲渡所得割市町村交付金。26ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。6款地方消費税交付金。27ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。7款ゴルフ場利用税交付金。28ページ。

進行いたします。8款自動車取得税交付金。28ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。9款国有提供施設等所在市町村交付金。28ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。10款地方特例交付金。28ページから30ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。11款地方交付税。30ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。12款交通安全対策特別交付金。30ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。13款分担金及び負担金。30ページから32ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。14款使用料及び手数料。32ページから36ページまで。10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

使用料及び手数料の中に入っているかどうかわかりませんが、アマギ溜池の跡地に向こう建設残土、LHDの建設資材が置かれています。これについては、質疑をした経過があるんですが、アメリカから持ってきた耐熱砂利と耐熱砂、それについての使用料はどういうふうになっていますか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

ただいまの御質問にお答えしますが、この建築資材と申しますか、重機等が搬入されているという話については、詳細は私は把握しておりませんが、お聞きになりたい部分というのは、その土地の使用の件だと、私は理解しております。これに関しましては、財産貸付収入の中に入っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

よろしいでしょうか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。15款 国庫支出金。36ページから40ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。16款 県支出金。40ページから45ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。17款 財産収入。46ページ。10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

アマギ溜池にLHDデッキをつくるための耐熱砂利、あるいはここは耐熱砂が入っているフレコンバックが相当積まれています。これについての使用料、これはいつからいつまでの使用、契約は結ばれているんですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

これにつきましては、伊江建生コンと村のほうで契約をし、昨年平成28年度の年度途中から契約を交わしております。また、そちらの事業所の土地もございしますが、それをまた村が借りているという部分もございします。事業所のほうからいろいろと相談もありまして、現在のところ賃貸借契約ということで契約を結ばせていただいております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

休憩します。

(休憩時刻15時38分)

再開します。

(再開時刻15時39分)

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

契約書があったら、後でいいんですが出していただきたいと思います。金額について、報告していただきたいということ。それから今、公共工事で出た残土をまた砂利にかえて、碎石ですか。それにかえて今、基地の中に運んでいます。これについても、これは平成28年度ではありませんが、関連する問題ですから、同じく基地建設に関連する問題ですから、アマギ溜池を基地の建設のために、村有地を貸していることについて、どう考えるかということ。村長。

それからもう1点は、今アマギ溜池に集められた建設残土を加工して、砂利にして、基地内に運んでいます。これは村が無償で提供しているのかどうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

建設課参事 知念利次君。

○ 建設課参事 知 念 利 次 君

残土の使用に関しては建設課が取り扱っていますので、説明いたします。

まず公共工事等で発生します残土は村有地に搬出して、取り扱っています。この残土を民間工事とか、あと公共工事の埋め戻し材として、無償で提供している状況であります。もちろん使用に関しては、使用者から土砂の使用許可申請書を提出してもらい、その条件を勘案して許可を出しています。今回の件に関しても工事等で使用するというので、土砂の使用許可を出してもらい、その土砂を申請を出してもらい、許可書を発行して、搬出してもらっています。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

基地建設というのは、公共工事ではないんですね。公共工事に無償で提供するということについては、私は反対はしません。ただ現在、今ですね。ずっと何回も一般質問でも取り上げて、LHDデッキの建設については、村議会でも建設に反対する決議もしましたし、村長も中止を求めていくということをやっと言い続けてきました。その基地建設のために、建設残土が使われているということについては、納得はできません。この建設課が公共工事と同じ扱いで許可を出したということですが、この使用量とそれからいつからいつまで、これを運ぶのか。これについて、説明をしていただきたいと思います。

それと村長については、その基地建設のために、村の土地を使用させて、しかも建設残土を無償で提供するということについては、どう考えるか。村長の見解を伺いたい。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

建設課参事 知念利次君。

○ 建設課参事 知念利次君

使用量に関しては6,400立方メートル、使用期間が平成30年の3月31日までとなっております。

○ 委員長 渡久地政雄君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

まずはアマギ溜池の使用の件について、私から若干答弁をさせていただきます。いつの議会かは存じておりませんが、アマギ溜池とリリーフィールド公園にある土地との交換の話はさせていただきました。総務課長が申し上げたこの伊江建生コンと伊江村の両方を交換して小さくしていますから、そのときにも申し上げましたが、これは生コンの事業展開の中で、今の敷地からアマギ溜池をつくった後の跡地については、いろんなプラン等を含めた資材置き場として活用をしたいので、リリーフィールド公園にある伊江建生コンの所有地と、このアマギ溜池の跡地と交換をしてほしいという申し入れがありました。時期的な部分とこのLHDの改修工事の期間的な部分が、同じ時期になったという部分で、決して名嘉議員が考えているように、この工事のためにアマギ溜池の跡地を伊江建生コンに賃貸借をさせたことではありません。以前から、村と伊江建生コンのほうで、話が続けておりましたので、伊江建生コンの関係者からも事情を聞いていただければ、誤解は解けると思っていますので、その辺はぜひよろしくお願いをしたいと思います。決してこのLHDの基地建設のために、この跡地を賃貸借をさせて、残土、あるいは資材置き場にしたいということではありませんので、ぜひ御理解をいただきたいと思えます。

それとLHDの改修工事については、私もずっと詳細な情報提供がない限りは、ずっと中止を求めていく立場だということをずっと申し上げてきています。それと加えて、実際に工事が行われている中では、村民生活に支障がないような現実的な対応をせざるを得ないという部分も申し上げてきているわけです。そういうことで、もし今、アマギ溜池にある資材等が使用できないときには当然、村外からの搬入になりまして、伊江港の港湾の使用、あるいは集落内を通過して、この交通を運ぶ運搬距離も相当長くなると。その辺の中で交通安全的な部分も加味をしながら、村民生活への影響度の軽度の部分の中の、今の現地からの運搬を了とせざるを得なかったということでもあります。その辺については、現地の分遣隊のコーネット隊長からも説明を受けておりまして、安全対策その辺の頻度の問題も受けて、しっかりと安全対策をやって、村民生活に支障がないようにということも申し上げているところであります。あくまでもLHDの改修工事については、詳細がないままについては、ずっと申し上げているとおりであります。それも含めて、現実的な対応の中で村民生活への支障を工事に伴う影響度を最小限に抑えていくというようなことも、実際の村の行政の中ではとらざるを得ないという部分の一つの方策ということで、ぜひ御理解をいただきたいと思えます。

○ 委員長 渡久地政雄君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名嘉 實委員

交通安全対策は、港から運ばないから交通安全のためになるのではないかとありますが、建設資材を村の公共工事から出た残土を加工して砂利にして、それを無償で基地建設のために提供しているということについては、どう考えますか。

○ 委員長 渡久地政雄君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

その辺につきましては残土を加工して、その工事に使用しているという部分は、ちょうど恥じ入っている部分もありますが、私は今現在、聞いておりまして、残土の使用については、ちゃんとした手続を踏まえ

て使用させるようにという部分の話をしてしておりますが、加工してやるということは、正式な報告は受けておりませんで、名嘉委員の今の御質疑でこう知ったという経緯ではございますが。

もう一つ、アマギ溜池との関連性からいいますと、先ほども申し上げましたが、伊江建生コンとしてはその跡地にプラント、あるいは資材置き場としての部分を活用するということでの交換のお話がありました。そういう中で、早目にこの建設、ここの上に残土を置いてありますから、残土の除去が大きな要するに懸案事項となっていたわけであります。そういうことがある中では、伊江建生コンが交換しても、すぐ使用できない、活用できないという部分の中で、この残土の処分も村としての課題となっておりますし、他の公共事業からの部分もありますが、そういう部分も踏まえて、早目に伊江建生コンのこの辺の要望に応えたいと思いますし、村としてもリリーフフィールド公園の伊江建生コンが所有している土地については、今後大きな活用する価値があると、村にとっても利益があるという部分で、ぜひ早目に契約を交わして、交換をしていきたいという考え方もありまして、残土の資料については、いたし方ないのかという部分で、ここまできている状況であります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

答弁が長い割には、よくわからないものでした。

私は村の公共工事から出た残土を、あれは加工というかふるい分けて、石だけに砂利だけにして、それを使っているわけです。それについて、基地の建設のために、村のこの残土を公共工事から出た残土を石にふるい分けて砂利にして、使わせているということについて、どう考えるかということを知っているんですよ、どうですか。ただ、残土置き場を早く処理したいと、そういう問題ではないんですよ。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

その辺の部分も私は関連をしているというふうに思っておりますが、いずれにしても、残土の部分がそういう工事に使われているという中で、誤解を与えないような、私先ほども申し上げましたが、残土を加工をして工事に使っていることを初めて聞いておりますので、この辺の詳細も確認をしながら、こう誤解のないような新たな方策がないのかどうなのかを今後、内部で検討していきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

使用許可願いというのが出されていますよね。それについての資料、委員の皆さんに配っていただけませんか、委員長、いいですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

建設課参事、大丈夫でしょうか。準備できますか。では後ほど。

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

今、できませんか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

建設課参事 知念利次君。

○ 建設課参事 知 念 利 次 君

先ほどの契約書の配付を総務課長、お願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

休憩します。

(休憩時刻15時55分)

再開します。

(再開時刻16時00分)

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

土砂等の使用許可申請書、これは今年の6月23日に出されています。申請者は株式会社NIPPO、米軍伊江島工事事務所になっています。申請願いは村長に対して。使用の場所が伊江島訓練施設内、使用の目的、建築盛土材というふうになっております。これを見ると、次の写真を見ると、使用場所が伊江島訓練場敷地内、白黒でちょっとわかりにくいんですが、LHDデッキになっています。そこに使うということが、使用目的、使用場所もはっきりと書かれているわけです。ですから、F-35Bの訓練場建設のために、村の残土ですね。これを処理して使うと、しかも無料提供をするということになるわけですよ。村長、これは許されませんよ。どうですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

先ほど来、申し上げておりますが、この土砂の使用許可申請書を私宛てではありますが、それ決して逃げるわけではありませんが、決裁としては、きょう初めて見るということでもあります。ただ報告は受けております。残土使用をするということは、ただ先ほど来、名嘉委員がおっしゃる、それを加工しての資材として使うということは、きょう初めて聞いたところでもあります。

そういう中で、先ほども申し上げましたが、基本的にLHDの工事については中止を求めていくという中で、現実的な対応の中で、この資材の部分を例えば無償じゃなくて有償だったらいいのかということではなくて、その辺の部分がないときには、今後、業者のほうにどういうふうな調達の方法をしていくのか。その辺も伺ってみたいと思います。村外からの調達になりますと、私が申し上げているとおり、港から現地までの運搬、それで伊江港のまたバージの使用の問題、この基地の建設に伴う村民生活への影響する頻度が高くなるという判断から、残土の使用については、先ほども申し上げましたが、そういう対応をしたということでございます。ただ今回ある残土の使用については、今後内部でも検討したいと思っておりますし、今後伊江村の残土の使用がなければ、どういった対応をとるのか。分遣隊あるいは工事関係者に聞き取りをしていきたいと思っております。

アマギ溜池の敷地と今、リリーフィールド公園のこの辺の部分は、当初は早目に交換をする予定でありましたが、私たちのアマギ溜池の分筆業務があつて、とりあえずは今、賃貸借をやっているということで、将来的にその辺の業務が完了すれば、相互交換、等価交換で、財産の交換をしていきたいということで、そういう今、状況であります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

建設課参事 知念利次君。

○ 建設課参事 知 念 利 次 君

ただいまの質疑に、この使用許可申請書についての使用目的が建築盛土材となっていますので通常、盛土材はその上にちゃんとした路盤材を施します。その上に舗装とか、アスファルト舗装とか、コンクリート舗装を施す施工になっていますので、今回の盛土材ということでもありますので、砂利を加工して搬入しているというのは、多分現場での使いやすさ、砂利にしたら均等になりますので、現場のほうでの敷きならしとか、

転圧がやりやすさになるために、あえてこの現場に搬入する前に砂利を加工して、搬入していると私は解釈しています。そのためには、余計な砂利を砕く機械とかも必要になってきますので、余分にその分、金をかけて使いやすさのために、現場に搬入していると思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

この件に関しては、村長の答弁では内部で検討して対処したいということですが、これ基地建設のために、村が協力しているということは大問題になりますよ。ぜひこれはやめてほしいと私は思っています。以上です。早目に検討してください。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

名嘉委員のただいまの御質疑も踏まえまして、私も誤解のないように、しっかりと村民に説明できるような方策があるのかどうなのか。名嘉委員のただいまの御質疑も踏まえて、しっかりと内部でどのような方法ができるのかをやっていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。18款 寄附金。46ページから47ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。19款 繰入金。46ページから49ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。20款 繰越金。49ページから50ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。21款 諸収入。50ページから53ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。22款 村債。52ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

歳入一括して質疑を許します。10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

46ページ、47ページに18款寄附金がありますが、ここではちゅら島づくり応援寄附金と人材育成会寄附金がかかれているんですが、社協に対する寄附金もありますよね。香典返しとか、ありますが、今社協が寄附金がたまりすぎて、10年間でその寄附金をなくさなければならぬという指摘をされて、いろいろと悩んでいるということですが、香典返しについて、社協に寄附をするということは、もうそろそろやめたほうがいいんじゃないかと私と思いますがどうですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

副村長 名城政英君。

○ 副村長 名 城 政 英 君

この件につきましては、ただいまの名嘉委員の御質疑にお答えいたします。確かに今年4月に入りましてからの理事会でもちまして、社協がその基金を持てなくなったという指導があったということで、平成29年から10年間にわたって、これまでの貯めてきた基金1億円余りを社会福祉に充当していくということで計画が上がってきておりました。その中で現在も平成29年度入ってからも、もう既に終わった懐メロからの寄附金として、ただいまありました香典返し等については、その年度に何かの事業に充当していくということになってくるだろうと思っております。ですからその年度にこの香典返しのあったときに、その年度のいろいろな自主事業に充てることのできるのであれば、何ら問題ないわけで、ただここで私たちが「その寄附金は受け取るべきではない」ということは言えないと、私は思っております。

そういったことで、今後いろんな面で村が村長のほうでその寄附金を受け取って、そして社会福祉のところに19節で補助金として、社会福祉協議会に充てていくということも考えられるだろうと思っております、実は来る今月の27日に社会福祉協議会の理事会があって、その席でこの件についても私のほうから理事のほうに質問をしてほしいということで、実はこれは福祉課長から私にも要望があって、社会福祉協議会のほうの理事会でもって、ただいまあった件については、今後の取り扱いの仕方について、どのようにしていかうかということをお話し合いをしていきたいということを今、考えておまして、ただいまの御質問の答弁としては、もう香典返しはなくしたほうがいいんじゃないかということについては、即答できませんが、うまくそれらについての村民からの御奉仕については、活用できるように方法を考えていきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。次、歳出に移ります。歳出も款ごとに質疑を許します。

1款 議会費。58ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。2款 総務費。58ページから78ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。3款 民生費。88ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。4款 衛生費。88ページから98ページまで。5番 内間広樹委員。

○ 5番 内 間 広 樹 委員

98ページ、E&Cセンター運営費に関連してお伺いします。村内から出る大型家電、村の産廃業者が村外へ搬出していると思うんですが、平成28年度分の村の負担額ですか。実績をお伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金 城 和 廣 君

平成28年度の家電リサイクル収集運搬実績といたしまして、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン、合わせまして175台の運搬実績として65万1,521円でございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに質疑ございませんか。1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

94ページの診療所会計繰出金について、お伺いします。10年ほど前までは診療所会計への繰出金も5,000万円から多いときでは6,000万円という多額のお金が繰り出されておりましたけれども、近年、3,000万円台になっているということで診療所、阿部先生以下のスタッフの皆さんですね。御苦労さんと感謝を申し上げているところでございます。そこでこの四、五年は3,000万円でしたが、今年は500万円多くなっているんですけども、その多くなった理由をお伺いしたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

医療保健課長 大城 強君。

○ 医療保健課長 大 城 強 君

ただいまの診療所の繰出金3,500万円になったのはどうしてかということですが、一応は平成26年度から伊江村特定防衛施設周辺整備調整交付基金を運用、これは人件費ということで、人工透析に係る人件費に基金を充てるということで、平成26年度から実施しています。当初、最初の年は3,000万円、これ10年間の事業計画をしておりますが、当初3,000万円、その2年目からは3,500万円、これ人件費でして、当初育休が1人いましてその分は除いて、人件費ですのでその充当する予算に対しての計画を立てておまして、500万

円今年はふえております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1 番 島袋義範委員。

○ 1 番 島 袋 義 範 委員

決算審査の診療所と関係しますけれども、診療所会計ですね。この単純にもう4,900万円繰り出し、剰余金というんですか。出ているのに、3,000万円でもいいのではないかと。何で500万円も多くするのかと。今の話では何か積み立てがあるから出したという言い方にしか聞こえないんですけども、これ積み立て、増額しないでも3,000万円でも、診療所会計余裕を持って、いつ何どきそういうあれが、不要不急の支出に対して。繰り出し金を出すのはいいんですけども、何で多くなったかなというちょっと疑問に思うんですけど、どんなですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

医療保健課長 大城 強君。

○ 医療保健課長 大 城 強 君

これは先ほども説明しましたが、やはり透析にかかる人件費ということで、阿部先生も含めスタッフ、臨床工学士、看護師等の人件費に基金を充てるとということで、その人件費分を計算したときに3,500万円が見込まれるということで、当初は3,000万円で、その以降については3,500万円の人件費が必要だということで、その3,500万円を充当したいということで、500万円は上げております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

休憩します。

(休憩時刻16時21分)

再開します。

(再開時刻16時24分)

医療保健課長 大城 強君。

○ 医療保健課長 大 城 強 君

基金の3,500万円については、上限額を定めての計画で定めております。今、運用につきましては、実際、人件費にかかった金額を繰り入れをして実施しております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに質疑ございませんか。1 番 島袋義範委員。

○ 1 番 島 袋 義 範 委員

昔は沖縄県の寿命が長かったと、全国一だったというんですけれども、今はもうずっと健康寿命が下がってきていますよね。そして県を挙げて、長寿になろうということで取り組みをされておりますけれども、そういうことで私も議会としても、去る総務常任委員会は、健康づくりということで、長野県に今全国一の長寿を誇っています長野県を視察させていただきました。そういうことで、向こうではいろんな方策をとられていますけれども、やはり向こうで見たのもお互い、向こうの街を歩いても、そんなにメタボの人がいないというのが実感だったんです。そういうことからして、1キロ減らす運動とかいろいろあるけれども、村内においても、そういう運動を村長が先頭になって、これ実施する必要があるんじゃないかと。つまりそういうことは今、保健師の皆さんがあらゆる団体の総会とか何とかで「健診をしましょう」ということで、ピーアールしていますよね。それもそれで吹けども踊らずで、村民の間では関心もそんなにないということが、やはり医療保険の国民健康保険の増大にもつながっているわけです。そういうことからして、その後村長が前に立って、先頭に立って、そういう健康づくりを、いま一度やる必要はないかと思うんですけども、村長どういうふうに考えますか、お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

全く同じ思いでありまして、なかなか村としてのリーダーシップですか、旗振りができていない現状だというふうに理解をしております。その辺を踏まえまして、今年度から健康福祉まつりも単独で開催もしましたし、従前は隔年でやっておりましたが、今後は毎年実施で、村民への健康のありがたさ。その辺の啓発をしていくような、こういう取り組みが強化されていくだろうと思っております。役場においては、過去に忘年会に向けての役場職員だけの減量作戦はありましたが、その辺がなかなか広く村民的にできなかったということですので、島袋委員の御提言を踏まえまして、私先頭になっていくら減らせるかわかりませんが、ぜひその辺の機運の盛り上げのために、医療保健課、役場、まずは役場から盛り上げながら、この健康福祉まつり、あるいは教育委員会が毎年実施しておりますチャレンジデー、いろんなイベントと連携をしながら、その辺の運動ができないか。今後まずは役場からはじめて、全村的な中に広がっていくような取り組みができるように取り組んでまいりたいと思います。

○ 委員長 渡久地政雄君

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島袋義範委員

長寿といっても、健康で長寿でなければいけないわけです。今は医療の技術が発達していて、横になっていて管を通して、みんな長寿になるというのでは意味がないわけです。やはり健康で長寿を保つには、お互い生活習慣病の原因とする死亡が一番ですので、その辺を改善するには、日ごろからの運動とか、いろいろな食生活とか、いろいろな方法があると思いますけれども、こういうのを一応は役場内で、シマンチュの健康を守ろうやという、話し合う何かでもつくっていただいて、どういう方法があるのかというのを、真剣に考えていくべきではないかと。そうすることが、国民健康保険税の高騰を抑えるということにも、私はつながると思うし、そういうこと言われているわけです。運動をすれば、そういうのが減るよというのは言われているけど、ただ吹けども踊らずで、みんなそういう理解はしつつも、実行ができないということになっていきますので、ぜひ今、村長がおっしゃったように、役場から最初にスタートして、我々議員もスタートさせようと思っておりますけれどもね村民が先頭になって、みんなでやろうという気概を持ちたいというふうに思っています。

○ 委員長 渡久地政雄君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

私も常々、こう挨拶の中でもやはり健康が第一ですと。何よりもかけがえのないもの、そして委員もおっしゃるとおり、失って初めてそのありがたさを思うのが、世の中には結構ありますが、その中の大きな一つとして、健康を害したときに、そのありがたさを感じるわけです。普通の生活の中で、お互い感じられて、感じていない部分がありますので、広く普及もしながら、提案があります、より実行的に村民的に広げていくような方法は、どのような感じで方策があるのか。ぜひ内部でも真剣に検討をして、ひとつ医療保健課、福祉課、住民課だけではなく、やはり全庁的に広めていかないといけないという取り組みだと思っておりますので、委員の御提言も踏まえて、実行的な取り組みができるように取り組みを強化していきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地政雄君

2番 島袋勉委員。

○ 2番 島袋勉委員

衛生費に関連しまして、これ成果説明書の中ではドクターヘリの、平成28年度の実績が出ていますか。それと救急搬送船の平成28年度のものがないので、実際、平成28年度でドクターヘリ何回、救急搬送船、何回出たか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

成果説明書の49ページをごらんいただきたいと思います。これにつきましては、救急搬送船に特化して、消防行政ということで明記してございます。搬送実績が55件、その他訓練等で1件ということになっております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

休憩します。

(休憩時刻16時32分)

再開します。

(再開時刻16時33分)

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

訂正します。県のほうで出ているドクターヘリと、それとME SHの両方ですね。それと救急搬送船、この3件の平成28年度の実績がわかればお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

医療保健課長 大城 強君。

○ 医療保健課長 大 城 強 君

御質問にお答えいたします。緊急の搬送実績、平成28年であります。先ほど「みらい」については、総務課長が言いました55件。ME SHにつきましては101件、県のドクターヘリについては26件と、定期フェリーは12件、合計で194件の実績でございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

4款、ほかにごさいませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。5款 労働費。98ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。明日は6款からよろしく申し上げます。

質疑の途中ではございますけれども、これで本日の決算審査特別委員会は終了したいと思います。

本日は、これで延会します。

(延会時刻16時36分)